

# 「創薬早める技術見極め」

米C14コンサル 大手とVB 橋渡し



モルスパーゲン  
CEO

新薬開発を巡って製薬大手とバイオベンチャーが技術競争する動きが活発化している。医薬業界で技術コンサルティングを手掛ける米C14コンサルティング責任者(CFO)、ルチナ・モルスパークエン最高経営責任者(CEO)、写真)は「多くの製薬大手は新薬候補の探索を早められる技術を求めている」と述べ、世界的な技術競争の動向を語った。主な取り組みは以下の通り。

— 製薬会社にどんな助言をするのか。

「バイオベンチャーバイオサイエンスと、英

米ドレクセル大学(ペンシルベニア州)卒。2001年、C14コンサルティングケルト社設立。

開発する新薬候補の権利やそれに関連する技術を売買したり、共同研究契約を結んだりしている。

当社は顧客にライセンス契約を助言するほか、提携先を探したり、相手の技術を見極めたりする手伝いをする。

「昨年、日本のバイオベンチャーバイオサイエンスと、英

(GSK)との研究提携をまとめた

— 提携をまとめた経緯は。

「ほかのライセンス契約交渉を通じて、GSKとのライセンス担当者を知っていた。GSKが何を求めていたかを見極めた上で、カイオムが持つ二つの細胞を使って抗

体を作成する技術「AD-shir」が、GSKにどんな新しい価値を生み出すか説明した

— 大手が求める技術で最近の傾向はあるか。

「主に疾患に関連する遺伝子解析のBG-Iと契約

メティック、共同研究東証マザーズ上場のメティックは、遺伝子解析サービス大手の中国B

患者からサンプルを収集し、安定期に中国に送付する方法を共同開発する。BG-Iはそのサンプルを基に病原体の遺伝子情報を求めているかを見極めた。なんばく質など創薬の新しいターゲットに関する情報を探している。それについて魅力的な独自情報を求めていた。GSKが何を

## クロックスブランドのメガネ

### デザイン軽快 色鮮やか

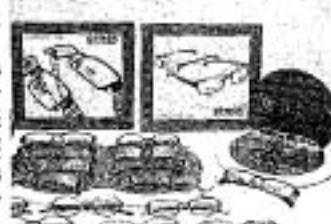
シードは米輸メーカー、

クロックスブランドのメガネを発売した。同製品を扱うシンガポールのメーカー

と総代理店契約を結んだ。

ファッショナブルなデザインや、カラフルな配色が特徴。児童向け製品を取りそろえ、幅広い層に売り込む。

クロックスは合成樹脂製のサングルのような軽いアーマーで、軽快なデザインや明るい色が特徴。発売す



## シード、総代理店に

るメガネ「クロックス・ア

イウェア」はそのイメージ

を生かし、クロックスを

レンジの明るい配色などの

フレームの形は32種類、

色を含めると128種類の

バリエーションがある。オ

ープン価格だが、実勢価格は1万5000円のよ

う。

ーに遺伝子検査サービス

ヤパン(神戸市、創建構

社長)と、共同研究契約

を結んだ。国内の感染症

患者からサンプルを収集し、安定期に中国に送付

する方法を共同開発す

る。BG-Iはそのサンプ

ルを基に病原体の遺伝子

を解析する考え方だ。

メティックは個人向

を独自開発したも

ので、その技術を感染症

サンプル採取、中国へ

送付に応用できるかと

かを検討するとい